

平成30年3月期 (2017年度:第21期) 第1四半期決算説明会

平成29年7月28日

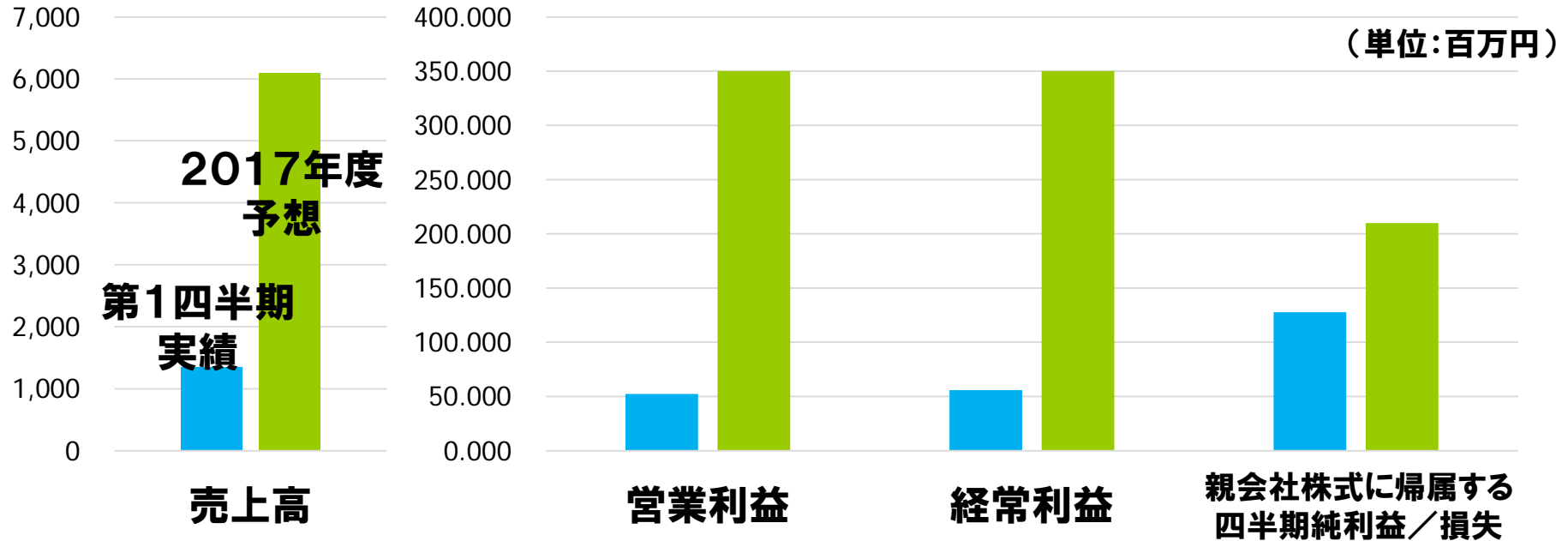
株式会社Jストリーム

※当資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資などの判断を行うことは差し控えて下さい。

20th
ANNIVERSARY

もっと素敵な伝え方を。
Jstream

2017年度 第1四半期実績ハイライト



	2017年度				
	1Q実績	通期予想	進捗率	前期実績	対前期増減
売上高	1,352	6,100	22.2%	1,189	+13.7%
営業利益	52	350	14.9%	5	+804.0%
経常利益	55	350	15.9%	7	+657.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益/純損失	127	210	60.8%	△4	-

四半期決算 連結損益計算書

	2016年度Q1(構成比)		増減率	2017年度Q1(構成比)	
売上高	1,189,132	100%	13.7%	1,352,279	100%
売上原価	683,552	57.5%	15.1%	786,874	58.2%
売上総利益	505,580	42.5%	11.8%	565,404	41.8%
販売費及び一般管理費	499,793	42.0%	2.7%	513,086	37.9%
営業利益	5,787	0.5%	804.0%	52,318	3.9%
経常利益	7,354	0.6%	657.4%	55,706	4.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益/純損失	△4,070	—	—	127,788	9.4%

受注動向

- ◆ 医薬系ライブ配信の受注が順調であり、前期末の反動を受けがちな第1四半期としては好調なスタートを切れた。

内的要因

- ◆ 外注費増に伴い原価率は上昇したが、販管費は抑制でき利幅拡大に貢献。前年同期比営業利益率3.4ポイント改善。

連結バランスシート

(単位:千円)

20th
ANNIVERSARY

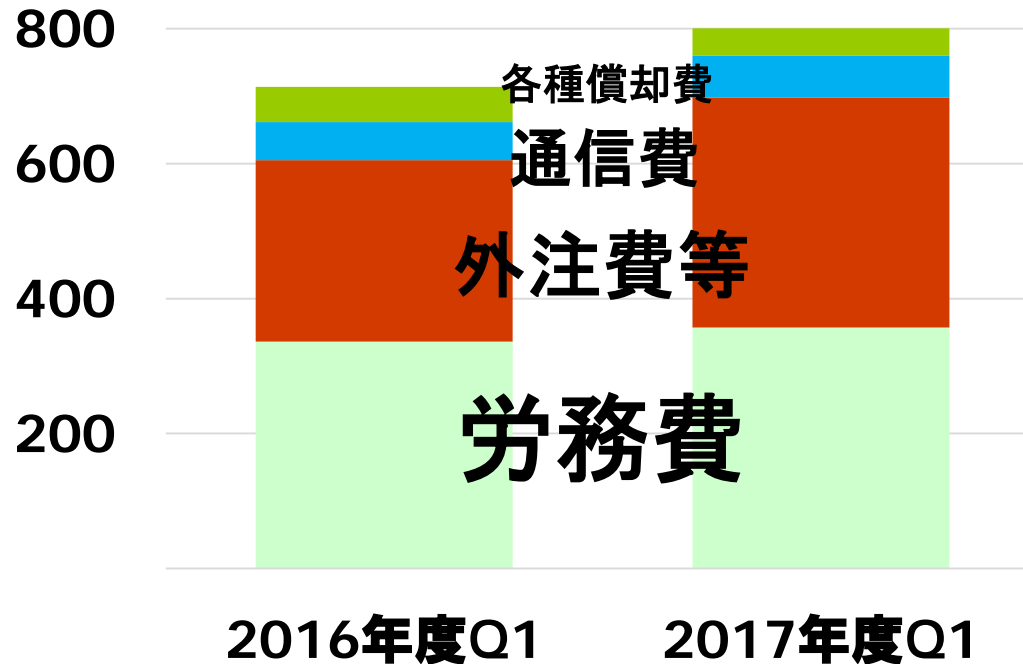
もっと素敵な伝え方を。
Jstream

		2016年度末	主な変動要因	2017/6月末
資産の部	流動資産	3,483,369		3,422,489
	固定資産	922,351		1,067,040
	有形固定資産	297,244		300,438
	無形固定資産	542,316		573,846
	投資その他の資産	152,790		192,756
資産合計		4,475,720		4,489,530
負債の部	流動負債	708,163		666,104
	固定負債	85,465		84,552
純資産の部	株主資本	資本金	2,182,379	2,182,379
		資本剰余金	626,241	626,241
		利益剰余金	1,093,268	1,158,237
		自己株式	△459,221	△459,221
	評価・換算差額等	248	260	
	非支配株主持分	239,175	230,974	
	純資産合計	3,682,092	3,738,872	
負債・純資産合計		4,475,720		4,489,530

未払金
△93M
未払費用
+103M
未払法人税
△89M

◆第1四半期において税効果会計の影響を除けばバランスシートに大きな変動はない。

売上原価(連結)主要項目



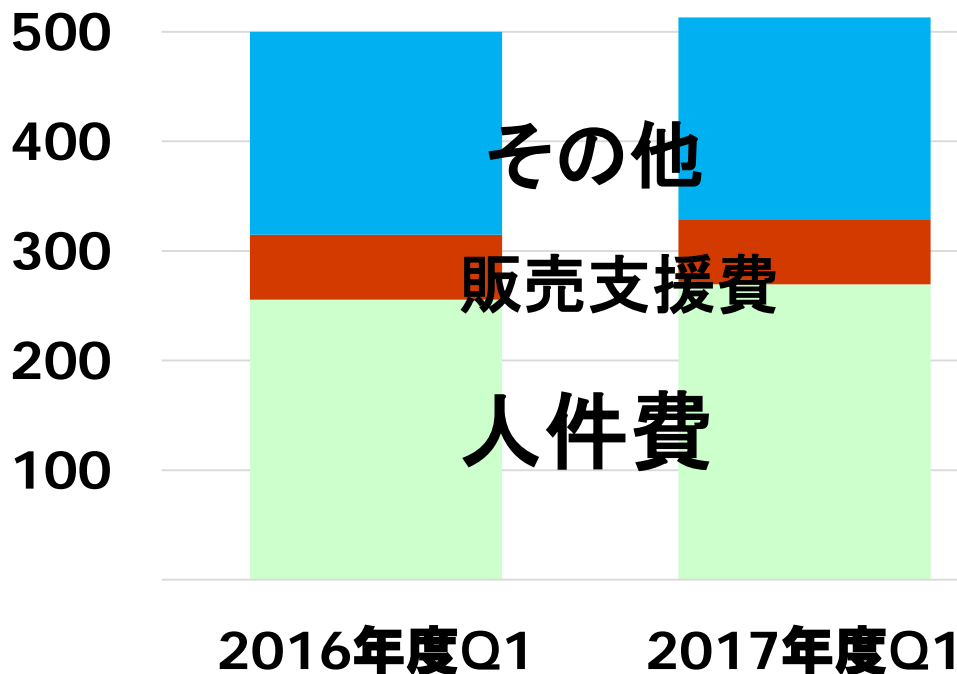
連結従業員数 348名(345名)
 個別従業員数 257名(234名)
 (子会社出向者除) ※()前年度

◆ライブ関連や、開発系中心に採用推進。単体の従業員は増加したが制作系連結子会社の解散と人員減に伴いグループでは大きな増加とならなかった。

◆ライブ案件増や子会社の減員補填に伴い外注費増加

	2016年度Q1 構成比		増減率	2017年度Q1 構成比	
労務費	336	49.2%	6.2%	357	45.4%
外注費等	268	39.3%	26.7%	340	43.3%
通信費	56	8.2%	10.2%	62	7.9%
各種償却費	52	7.6%	6.8%	55	7.1%
その他振替等	△29	—	—	△28	—
売上原価合計	683		15.1%	786	

販売費及び一般管理費(連結)主要項目

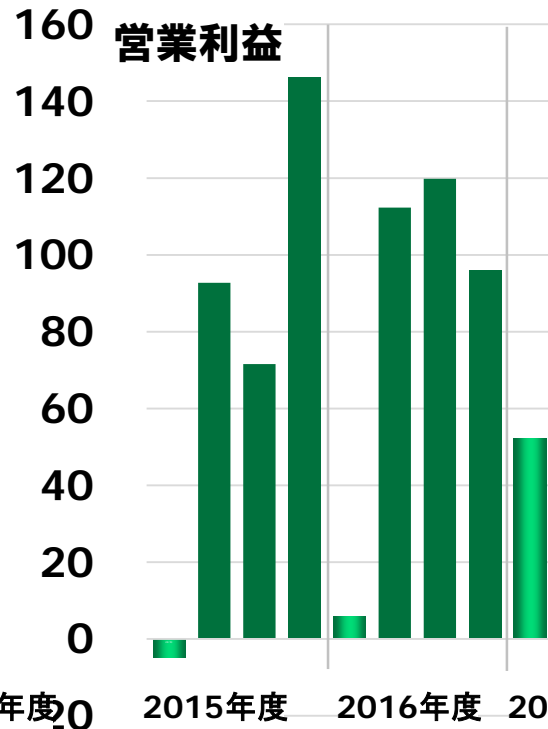
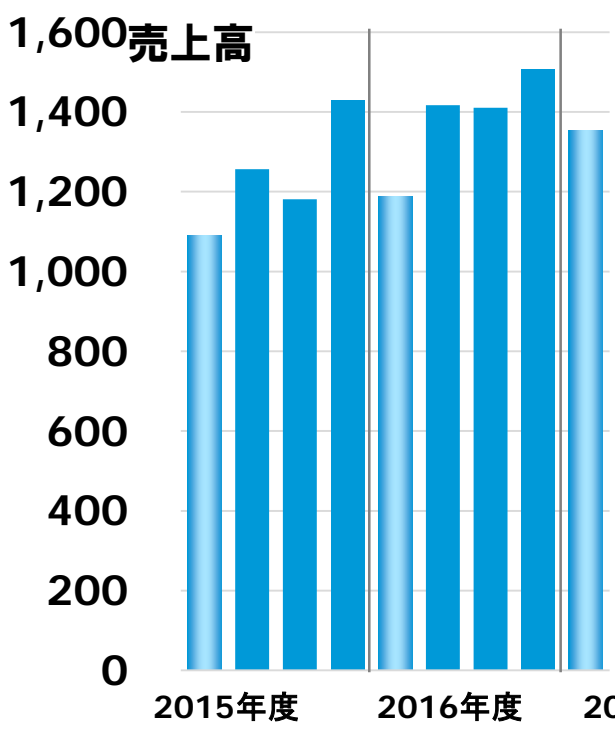


- ◆ 5月に設立20周年を迎える
に伴いインナーブランディング
施策を展開。
- ◆ 5月西日本営業所移転に
に伴い若干の費用負担有り。
- ◆ その他の項目に大きな変動
はない。

	2016年度Q1 構成比		増減率	2017年度Q1 構成比	
	金額	構成比		金額	構成比
人件費	255	51.1%	+5.5%	269	52.5%
販売支援費	59	11.9%	△1.3%	58	11.4%
その他	184	37.0%	△0.0%	184	36.0%
販管費合計	499		+2.7%	513	

四半期別売上、利益推移（連結）

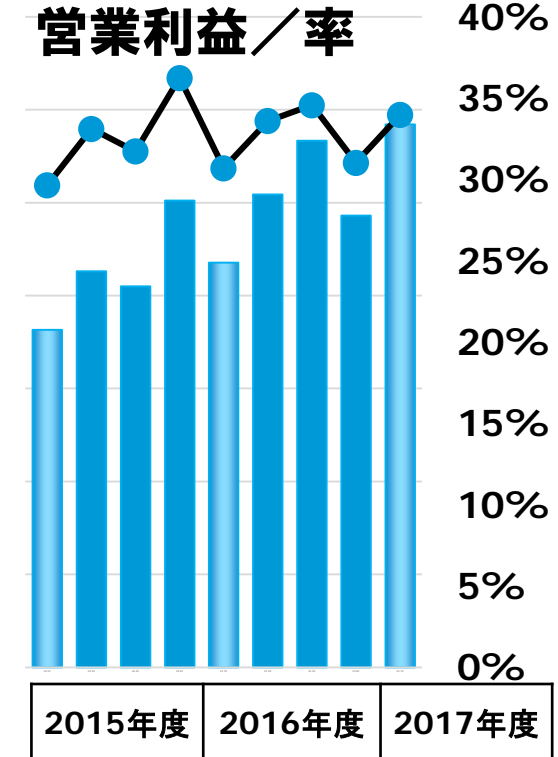
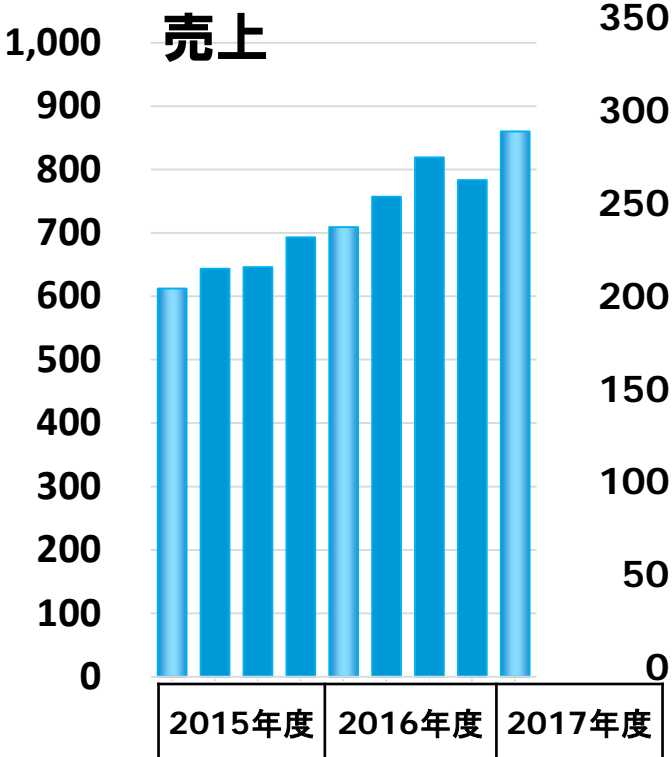
（単位：百万円）



- ◆ 前年比約1.5億円の増収。前期4Qからの反動減も比較的小さく抑えられた。
- ◆ 医薬系のライブ案件が売上増を牽引。
- ◆ 子会社の販売に出遅れ感あり。

	2015年度				2016年度				2017年度Q1
売上高	1,089	1,255	1,180	1,429	1,189	1,416	1,410	1,505	1,352
営業利益	△4	92	71	146	5	112	119	95	52
純利益	△12	58	44	90	△4	67	77	65	127
売上高	2,345		2,610		2,605		2,915		
営業利益	87		217		118		215		
純利益	45		134		63		143		

セグメント売上・営業利益状況：配信事業

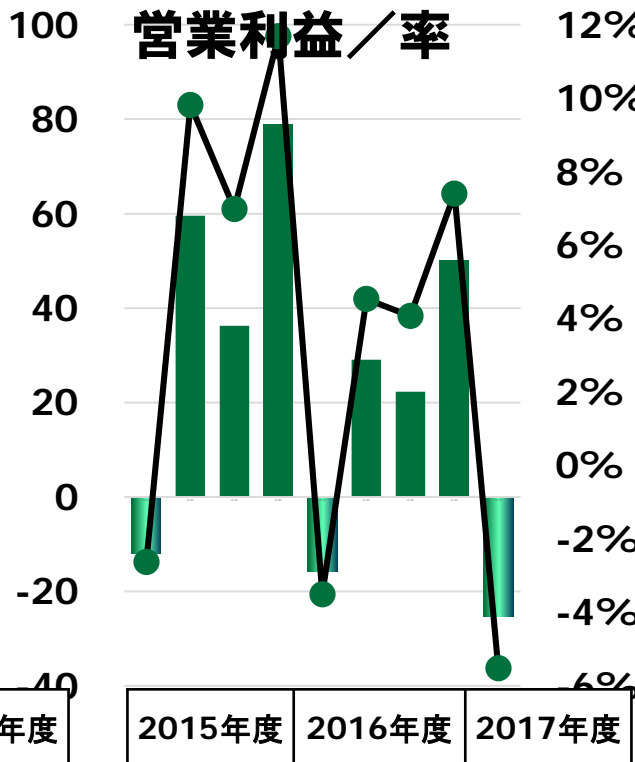
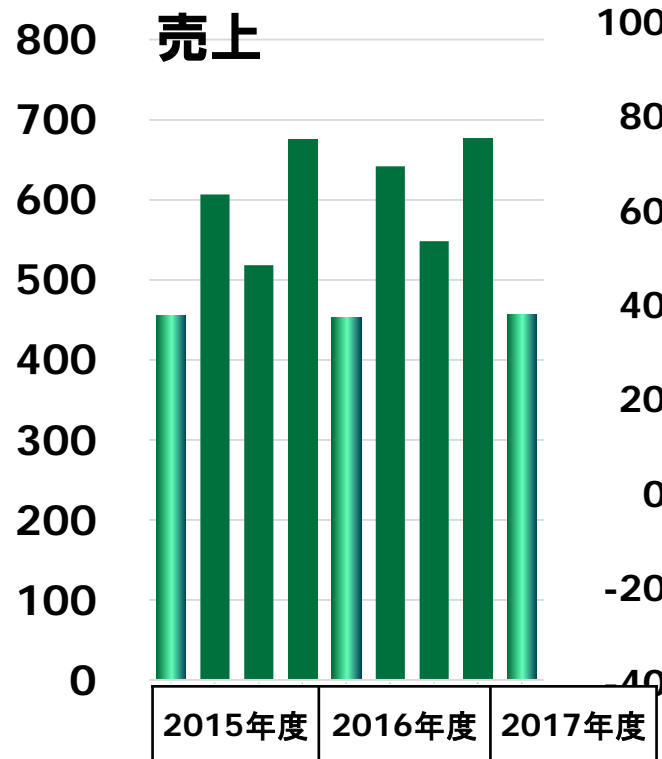


40% (単位:百万円、%)

- ◆ 医薬系ライブ配信の受注が順調。
- ◆ ニュース等の配信で大流量の扱いがあり売上利益に貢献。
- ◆ オンデマンド配信売上は微増。

	2015年度				2016年度				2017年度Q1
売上	612	643	646	692	709	757	819	783	859
営業利益	181	213	205	251	217	254	283	243	292
利益率	29.6	33.1	31.7	36.2	30.6	33.6	34.6	31.0	34.0
半期	1,255		1,338		1,466		1,602		
通期	2,594				3,069				

セグメント売上・営業利益状況：制作・システム開発事業










- 12% (単位:百万円、%)
- ◆ WEB制作、映像制作ともに横這い。映像制作子会社も前年並み実績。
 - ◆ スポーツ関連情報サイトの開発実施中。
 - ◆ 子会社の外注費増もあり利益率2ポイント悪化。対策すすめる。

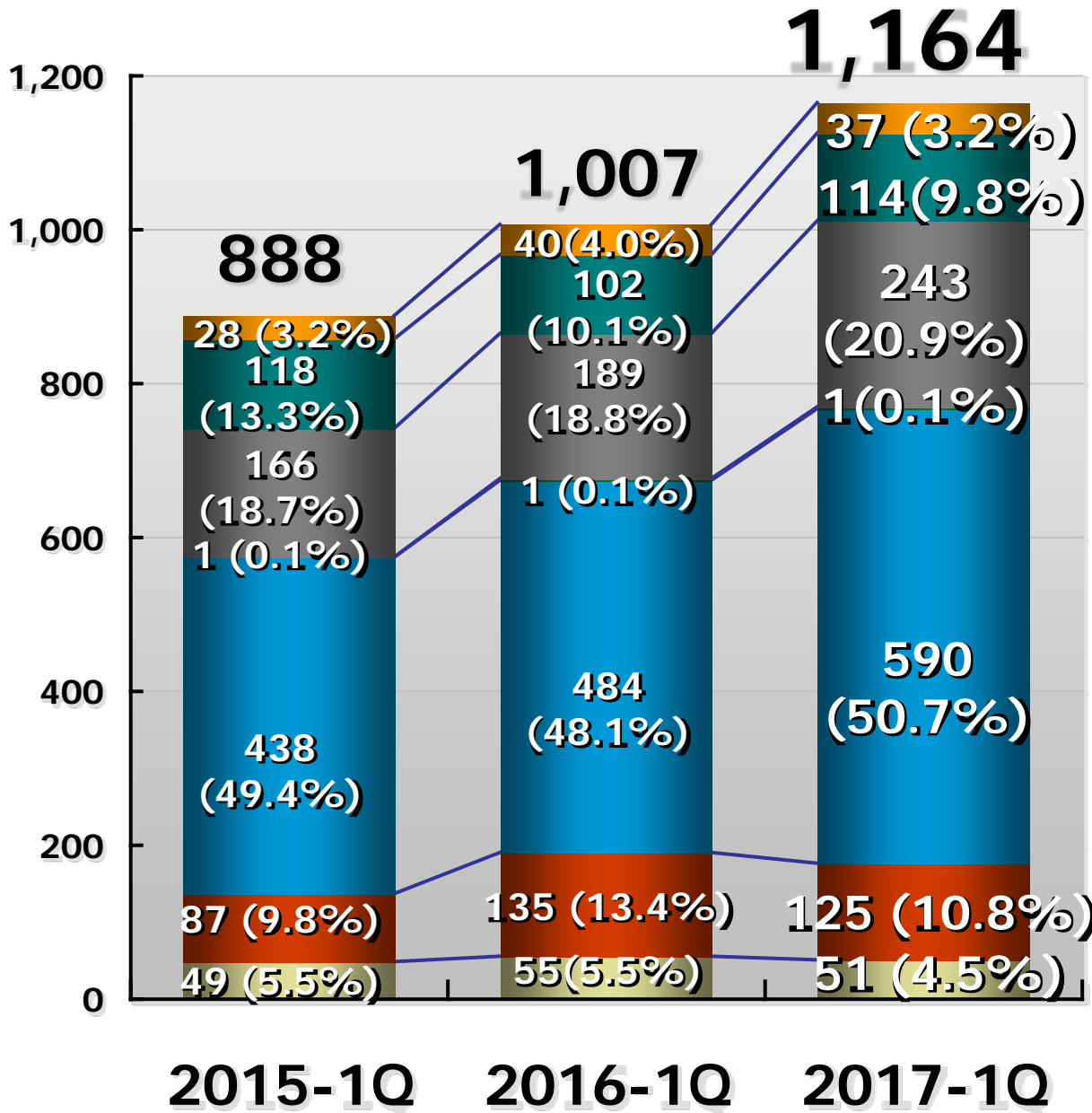
	2015年度				2016年				2017年度Q1
売上	455	606	518	675	452	641	548	676	457
営業利益	△11	59	36	78	△15	29	22	50	△25
利益率	△2.6	9.8	7.0	11.7	△3.5	4.5	4.1	7.4	△5.5
半期	1,062		1,193		1,094		1,224		
通期	2,255				2,318				

(単位:百万円)

増減率

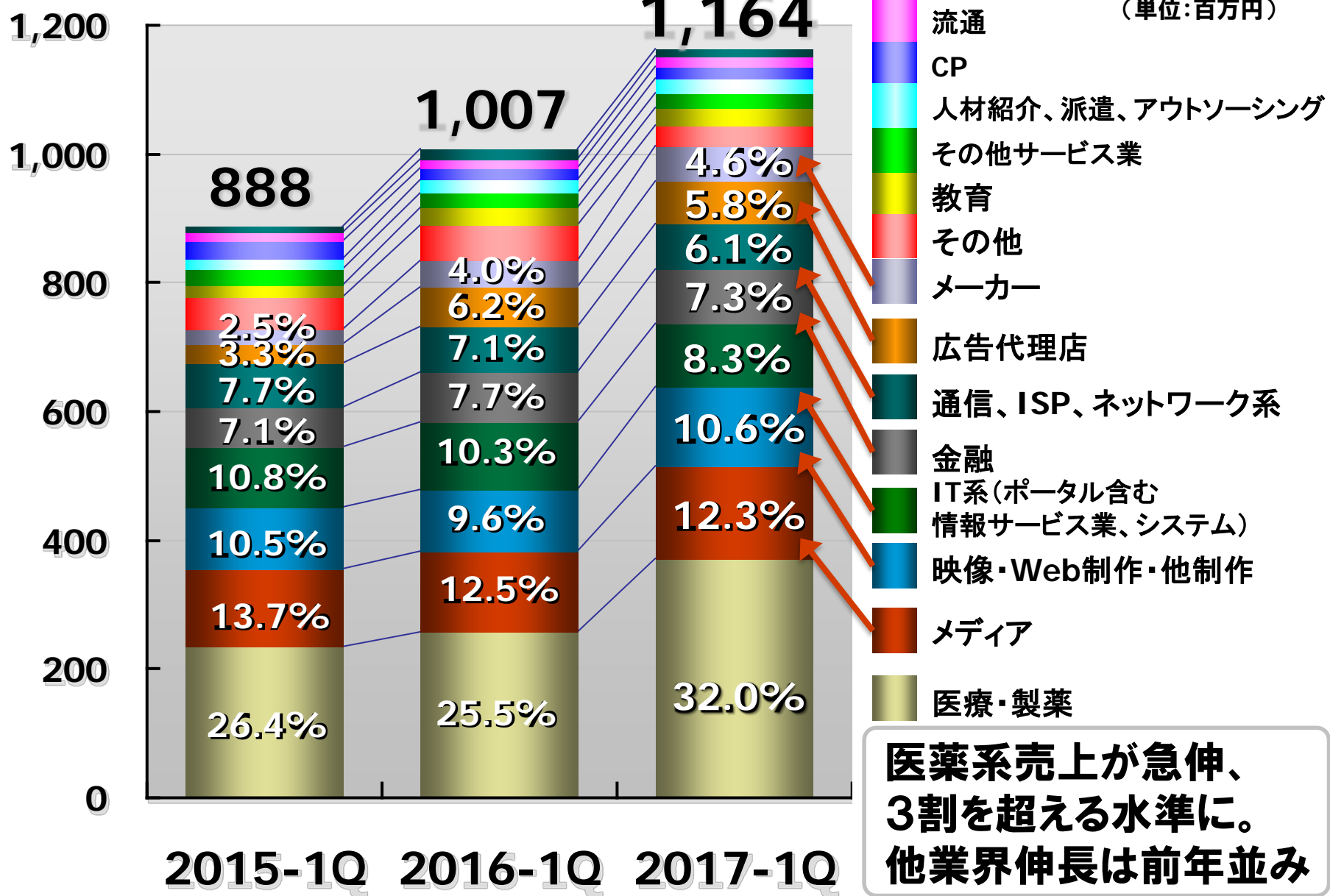
-  その他 $\Delta 5.3\%$
-  エンターテインメント(音楽/映画/娯楽/スポーツ) $+12.1\%$
-  番組/放送局 $+28.3\%$
-  ストリーミング広告 $\Delta 38.6\%$
-  販促(商品紹介/CM/セミナー/イベント) $+21.8\%$
-  採用/教育/研修 $\Delta 7.0\%$
-  会社案内/IR $\Delta 5.7\%$

用途別売上比率 (個別)



(単位:百万円)

業種別売上比率 (個別)



医薬系売上が急伸、3割を超える水準に。他業界伸長は前年並み

設備投資状況(連結)

(単位:百万円)

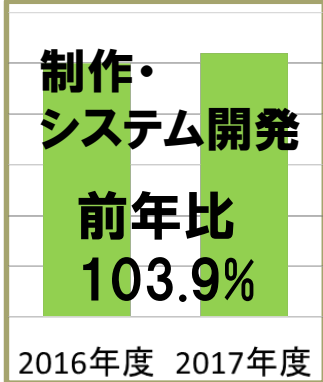
	投資項目	実施額 (年間予定額)
2017 年度	■ 配信事業関連 ネットワーク ハードウェア Equipmedia、動画広告プレイヤー 他サービス関連ソフトウェア 54	106 (595)
	■ 制作・システム開発事業関連 ソフトウェア 1 スタジオ機材等 3	
	■ その他 社内システム、オフィス関連等 全社設備 30	
	社内システムソフトウェア 19	

経営方針と 最近のトピックス

**最先端の動画ソリューション提供会社で
あり続け、企業活動の支援を通じて
社会の発展に貢献する**



- **ライブ配信:** 医薬向けWEB講演会の成長が継続。2017年度は、サーバーサイドアドインサーション機能を追加しメディア業界に展開
- **Equipmedia:** Enterprise Video Communicationを軸に展開を継続。基本機能強化、マーケットプレイス等のサービス強化を図る
- **CDNext:** SSLアクセラレーター導入、WordPressプラグイン、GEOフィルタリング等の機能強化を推進
- **その他:** SI案件体制強化の為の人員増強



- **WEB制作:** UI/UXプレイヤー整備、及び汎用性の高いCMS活用による差別化を図る
- **映像制作:** 4K、5Kといった高画質映像対応の強化、リモートバーチャルスタジオといったDIY系サービス充実による顧客層拡大を図る
- **システム構築:** 配信、制作、運用、分析とPDCAを回す体制整備による差別化



- **動画広告:** 動画メール広告、動画アドネットワーク、動画タイアップ、検索連動型広告で構成されるMovieADシリーズの展開の為、広告在庫の確保／動画マーケティング支援の為のオリジナル広告メニューの整備を図る
- **新規事業** 配信、制作事業と親和性が高いものから事業展開を開始する

◆ 株式会社イノコスを子会社化

設立 :平成22年

所在地 :東京都品川区

**デジタルビデオ関連の機器ソリューションを提供する技術
商社の側面／IPサイマル放送系のサービス基盤の提供
事業者の側面 を持つ**

**サービス内容がJストリームの事業領域と補完しあい、
Jストリームとしては 放送設備とIP配信関連技術の
インテグレーションノウハウ を短期間でグループ内に
取得することができる。**

◆ **営業上では「多チャンネル事業者」「CATV事業者」との
つながりが強い**

- ◆ 企業内の動画配信における回線負荷の課題を解決する手段として、Enterprise CDNサービスの老舗である米国のKollective Technology社と提携し、Kollective SD ECDNの販売を開始しました。

Kollective SD ECDNのアプリケーションをインストールし、インターネットへ繋ぐ回線の通信量を抑制。

10,000視聴者の場合、使用帯域10,000Mbpsが必要になるところが、1Mbpsで実施可能になる

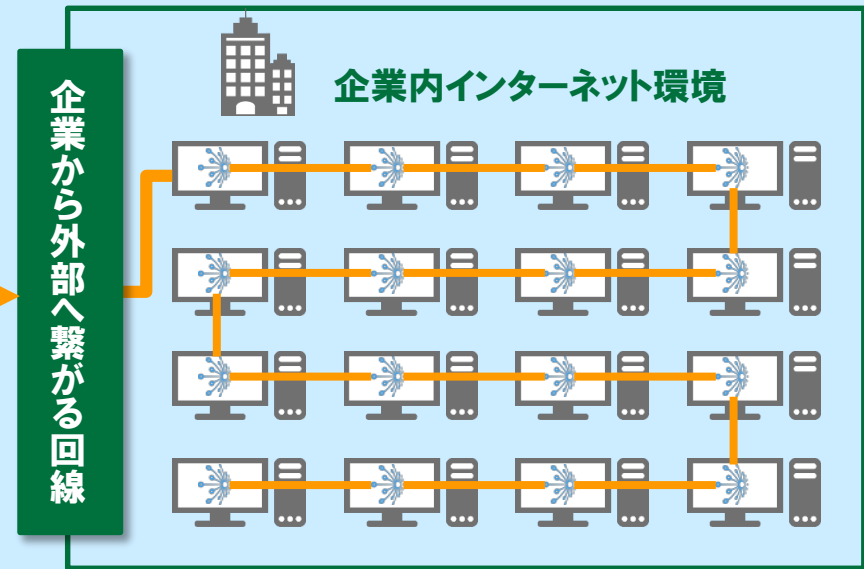
社長メッセージ



企業内セミナー



~~10,000~~ 1 Mbps



株式会社アジャストが提供する動画サイト構築 CMS「ソーシャルキャスト」とのサービス連携を開始

アジャスト社の動画サイト構築CMS「ソーシャルキャスト」とのサービス連携機能を強化し、ソーシャルキャストの管理画面上の操作でEquipmediaの動画配信・管理機能を利用可能とした。

企業が保有する動画資産の有効活用に向けた取り組みをサポートする狙い。

利用例：) 提供するサービスなどのノウハウを映像化し、その動画を会員限定で視聴可能にしたり、販売するための「動画サイト」の構築

静岡新聞社・静岡放送の「ユピテル・静岡新聞SBSレディース」のトーナメントライブ配信にサーバーサイド動画広告挿入サービス(SSAI)を提供

「LPGAステップ・アップ・ツアー ユピテル・静岡新聞SBSレディース」の全開催日のトーナメント映像を、静岡放送が放送番組と並行して独自にインターネットで生中継

本編映像にTVCMのように連続した複数の動画広告(プリロール・ミッドロール形式)を挿入して提供するにあたり、JストリームのSSAIサービスを採用

動画配信システム側で本編動画に動画広告を挿入し、1本の動画ストリームに統合して配信することにより

- ◆ シームレスな映像で視聴体験を改善
- ◆ 幅広い端末への配信が可能となり、動画広告リーチを拡大
- ◆ 広告ブロッカーの回避 等の価値提供が可能

業績予想値

	2017年度		
	1Q実績	通期予想	進捗率
売上高	1,352	6,100	22.2%
営業利益	52	350	14.9%
経常利益	55	350	15.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益／当期純利益	127	210	60.8%

決算説明内容についてのお問い合わせは

【メール】

https://page.stream.co.jp/pr_inquiry.html
(お問い合わせフォーム)

【電話】

電話 03-5765-7744 (総務部広報IR課)

へお寄せください。